

## 授業実践の紹介【地歴科】

11月10日(火)に本校において、地歴公民科の初任者研修が行われ、本校の教員2名が研究授業を行いました。普通科3年生の日本史Bでは地域の古地図や資料を教材に使った授業を行いました。資料より萩原で製糸業が盛んであったことやその製糸業が1929年の世界恐慌の影響を受けたことを読み取り、萩原が世界とつながっていたことを学びました。

また総合学科2年生健康・福祉系列の日本史Aにおいて、岐阜県出身の外交官杉原千畝を教材に、言語活動を取り入れた思考力を鍛えるアクティブラーニングの実践を行いました。生徒は自分の考えを仲間と話し合いながら、杉原千畝の功績を考えることができました。

授業後は、県内の初任者教員14名による授業研究会を行いました。



**古地図を資料とし、萩原と世界とのつながりに迫る地域学習の授業実践**



**「命のビザ」を発行した杉原千畝の気持ちの葛藤に迫るアクティブラーニングの授業実践**